

大学の世界展開力強化事業（平成27年度選定）中間評価結果

大 学 名	○長岡技術科学大学、鶴岡工業高等専門学校、茨城工業高等専門学校、 小山工業高等専門学校、長岡工業高等専門学校
整理番号	L-6
事 業 名	NAFTA生産拠点メキシコとの協働による15歳に始まる技術者教育モデルの世界展開

大学の世界展開力強化事業プログラム委員会における評価

（総括評価） S	優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる。
（コメント）	<p>本事業は、長岡技術科学大学が高等専門学校（以下、高専）4校と連携しながら国際経験を持つ技術者の養成を行うとともに、高専をモデルとする技術者養成プログラムを相手国のメキシコにおいて構築することを目指しており、我が国が世界に誇る技術者養成制度を「高専コース」として海外に展開しようとする画期的な試みである。</p> <p>事業展開では、我が国とメキシコのニーズに応えた教育プログラムを、高専生から学部生、大学院生に至る幅広い対象に実施しており、派遣・受入れの交流学生数についても、事業計画を上回る実績を挙げている。また、NAFTA生産拠点として重要な役割を果たすメキシコへ学部生を長期インターンとして派遣していることや、受入学生に対しては、長岡技術科学大学とメキシコ側3大学及び企業による三者間インターンシップ協定の締結により、経済的負担に配慮した継続性の高いインターンシップ体制を整えるなど、インターンシップ充実への取組がなされ、派遣・受入れともに単位取得を伴う制度として確立されている点も含めて、高く評価できる。サポート面でもコーディネータを適切に配置するなど、学生の安全管理がなされている。引き続き、メキシコの法体制を変えることなく既存の教育プログラムに我が国の高専が目指す技術者養成の制度を導入する画期的な試みが、双方の連携を強化し着実に定着していくことを期待する。</p> <p>一方で、派遣学生の語学力については目標とする基準値に達していないことから、語学力向上のための方策と評価方法を検討することが望まれる。</p> <p>最後に、今後も補助期間終了後の継続的な実施を見据えた事業計画の策定と安定的な財源確保に努め、学内及び関係機関との質保証を伴う国際教育連携の推進と、将来の我が国の更なる発展に向け、積極的な事業展開に取り組まれることを期待する。</p>